

住居環境科の授業風景

《建築施工実習Ⅰ》

7月22日から8月1日にかけて、住居環境科1年生を対象に集中実習として「建築施工実習Ⅰ」を行いました。

一般的な木造建築物の構造がどのようになっているのか、建築の勉強を始めて4カ月の1年生の皆さんが、蝉が盛んに鳴く真夏の実習場で、資料を見ながら「あーでもない。こーでもない。」と悩み、話し合いながら設計図を描き、加工・組立てまで行いました。



設計図をもとに、木材の切断や穴あけするところに印(墨付け)をしていきます。とても真剣で声をかけられません…。

墨付けしたところを、電動工具や手工具を使って加工し、試しに組んでみます。間違えたら今までの苦労が無駄になる…。



組んだ木材の対角を測って、歪みを修正していきます。

組立てに少し苦勞しましたが、ケガもなく、なんとか完成!! ○○人乗っても大丈夫? 基本的な部材の接合は理解してもらえた(?)ようです。



机の前に座って図表を見て説明を聞くだけでは、なかなか記憶に残りませんが、自分たちで製作する事で理解と協調性を深めた一週間でした。